



認定特定非営利活動法人

育て上げネット

育て上げ

検索

〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル

TEL : 042-527-6051 / FAX : 042-548-1368

www.sodateage.net info@sodateage.net

Facebook : [sodateage.net](https://www.facebook.com/sodateage.net)

X : [@sodateagenet](https://twitter.com/sodateagenet)

Youtube : YouTubeチャンネル「育て上げネット」

instagram : [sodateagenet](https://www.instagram.com/sodateagenet)

note : 育て上げネット広報チーム



育て上げネット

2023-2024 年度年次報告書

応援してくださったみなさまへ

Sodateage-Net Annual Report 2023-2024

2023 年 8 月～2024 年 7 月

当法人にご協力いただき、ありがとうございました。
おかげさまで、さまざまな活動を行うことができました。
ご報告をもって、御礼にかえさせていただきます。

私たちはいろいろな手段によって、寄付を募っています。
ぜひ、私たちのサイトをチェックしてください。



<https://www.sodateage.net/donation/>

育て上げ

寄付

検索



創業 20 年、これからの若者支援

本年も、私たち育て上げネットの活動を応援いただき、心より社会申し上げます。2004 年の創業から 20 年が経ちました。働きたくても働けない若者たちも、丁寧な関わりと機会があれば幸せに働き続けられることを大切に活動してきました。

民間団体だけの小さな領域であった若者支援は、この 20 年間で政府や行政の取り組みにもなり、企業の協力も増えました。

なにより、「若者支援に寄付は集まらない」という思い込みが、みなさまのおかげで「若者を応援してくださる方々がいる」に変化した 20 年でした。

他方、若者たちが置かれた状況はより深刻化しています。最後の砦であった家庭の余力がなくなり、家族から助けてもらえない。それどころか、家族に若者を追い詰められているケースが増えています。

ビジョン（めざすこと）の見直し 「働く」に加えて「生き方」を支える

公的な支援が拡充したからこそ、私たちは公共が取り残している若者たちを支えていく。それがこれからの若者支援だと考えています。若者支援のこれからを見据え、標榜するビジョンを変更しました。

すべての若者が自分に合った働くこと

自分に合った生き方を実現できること

働くこと、働き続けることを応援する就労支援団体としての強みはそのままに、それぞれの若者が自分に合っていると思える生き方の実現をめざすこと（ビジョン）に据えました。

働き方の選択肢が広がれば、生き方の選択肢も多様になります。従来の「こういう生き方が社会的に安定しやすい」という視点を広げ、「そのひとが安定する生き方に働き方を重ねていく」支援を続けていきます。地味で地道な活動ではありますが、みなさまのお力とご支援をいただきながら、21 年目も、若者を大切にしていきます。

認定特定非営利活動法人育て上げネット
理事長 工藤 啓

●わたしたちのめざす社会

すべての若者が自分に合った「働く」と
自分に合った「生き方」を実現できる社会

●果たすべき使命

若者と社会／社会と若者をつなぐ

みなさまのご協力により 2023-2024 年度は

のべ**36,233**人(団体含)の人々を

支援することができました。ありがとうございました。

※本年より、受益者数を実数にて表記するように変更しました。



育て上げネットを支えるスタッフより ―――[支援者を支える支援者]

“みんなで” を形にする ― 区切りのない支援の実践

2024 年も多大なるご支援を賜りありがとうございました。
寄付部門を担当するスタッフより御礼申し上げます。

[山崎] 法人化 20 周年を迎え、これまで私たちが支えてきた若者や子どもたち、そして保護者のみなさまをご招待した感謝祭を開催しました。対面型のイベントが躊躇される時期も過ぎ、少しずつですが以前行っていた企画やイベントが戻りつつあります。屋外バーベキュー企画や地域のお祭りの出店、音楽ライブなど、スケジュール帳がにぎやかになってきています。

なかでも区切りを取り払った企画が展開されるようになってきました。例えば、相談といえば相談員と若者決まった時間に集まって秘密が守られる場で行うのが通例でした。最近ではみんながいる場所で雑談を交えながらポロっと出てくる自然な言葉を拾い上げ支援につなぐ機会も増えています。

「利用登録」という考え方もだいぶ薄れてきました。もちろん本人の状況をたくさん聴いていたほうが丁寧な支援ができます。ただ、それは本人たちからすれば秘密にしておきたいことを他者に伝える苦労でもあります。



登録していなくても、来所予約をしていなくても、本人が望んだときに利用できる。今まであった区切りをなくしていくことで、さらに若者の負担を減らすアイデアをそれぞれが意識し、実現してきました。

区切りのない支援には柔軟な発想と若者たちの声を掴むスタッフの力はもちろんのこと、仕様書やルールに縛られない自由に使えるリソースが重要です。

今期もまた、みなさまからの支えのもとで、これからの若者支援を創る新しいチャレンジをすることができました。改めて御礼申し上げますとともに引き続き、私たちの活動にどうかご注目ください。



山崎 梓●やまざき あずさ

●広報・寄付を担当する窓口の人。
若者支援のことを日々学びながら
気づきやズレを言葉にして伝える。
寄付部門全般を担当。



社会的孤独に陥る人々が
増えている現状があります。

課題感が強まっている今こそ、 みなさんと一緒に支援していきたい。

「このお金どこから出てるんですか？」

そんな質問をしてくる若者がいます。

「みんなを応援してくれる人がいるんだよ」と伝えると
笑みがこぼれたり、驚いたり、反応はさまざまですが
自分のことを見てくれる人がいると気持ちが前向きになります。

みなさんの寄付は金銭的な支えになることはもちろん、

「私を応援してくれる人がいる」と心の支えにもなります。

育て上げネットでは、使途を指定せずに若者を支える方法のほか、

使途が決まっている寄付を受け付けております。

応援したいと思える方法でぜひご協力くださいますと幸いです。

25 歳の若者が 65 歳まで働き続けたら・・・



■税金を納めます（社会保険料等）

およそ 8,000 万円～1 億円

■使用した社会保障（医療介護、年金等）

およそ 4,000 万円～5,000 万円

Point

ひとりあたり 5,000 万円ほど税収が増えます

25 歳の若者が 65 歳まで生活保護を受けた場合・・・



■生活保護費

およそ 9,000 万円～1 億円

税金から支出されます

若者支援は社会に還元されていきます

税収増
5,000 万円

使わず済んだ生保費
9,000 ～ 1 億円

社会投資効果
最大 1.5 億円

クレジットカードでのご寄付

継続寄付

1 日 33 円～寄付できます。

右記 QR を読み取って
お手続きください。



都度寄付

思い立ったときに寄付できます。

右記 QR を読み取って
お手続きください。



継続型クラウドファンディング

貧困・困窮状態にある若者の「実費」を肩代わり

《実費》という見えない
コストが障壁となり、
社会とのつながりを
取り戻せない若者を
社会全体で応援して
いきませんか？



交通費・通信費等の負担ができない若者を応援してください

少年院を出院した子どもたちに寄り添い 更生自立を支え続けるプロジェクト

院内の支援から出院後まで、
更生自立を支え続けます。
未来を担う子どもたちの
更生自立とともに
支えてください。



育て上げネットは認定非営利活動法人です。育て上げネットへのご寄付は、
いただいた金額に応じて寄付金特別控除を受けることができます。



活動の起点となる自主事業をご紹介します

若年就労基礎訓練プログラム

ジョブトレ

地域に根差した拠点へ 学校連携の強化を継続



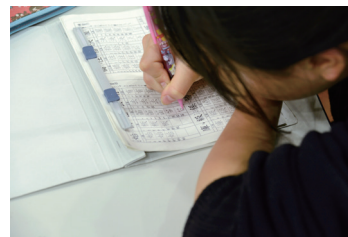
全国の支援団体と連携 コンテンツ提供を加速

全国どこからでも参加できるオンライン型のプログラムの弱点は、就活など地域ごとの事情を踏まえたケアが難しいこと。この問題の解消のため、各地の支援機関を起点にしたコンテンツ提供を強化しています。地域団体と並行利用することで、参加後のステップアップが円滑になりました。

グループでの仕事体験を中心に働く自信を身につける「ジョブトレ」では、昨年に引き続き、地域の高校と連携を強化しています。未内定卒業や中退など孤立リスクを抱える層と在学中に関わることで、仮に進路が決まらず卒業しても、スムーズに支援プログラムに移行することができます。



まなびタス



体験格差を減らす 学習＋社会体験で孤立予防につなぐ

日常的な学習機会の提供で進学や卒業のための支援を続けながら、長期休暇中のキャンプ、検定試験・模試の実施など、他の子に気後れしないような機会提供を行っています。社会体験機会をわたしたちが作ることで、家族の負担軽減にもつながります。



15年目のリニューアル 相談件数が増えました。

事業全体のあり方を見直し、リニューアルを行いました。相談件数が増加し、LINEの友だち登録は10,000名を超える見通しです。コロナ禍でオンライン型の支援が中心になっていましたが、対面講座、セミナーにも力をいれ、リーチを拡げています。





支援の始まりは安心と安全の確保
支援らしくない支援が入口になる

夜のユースセンター

昨年比 1.5 倍、需要高まる

「夜の居場所」で若者に寄り添う

若者の居場所支援「夜のユースセンター」は、堅実に需要が高まり、毎週 30-40 名の若者が来所しています。年間のべ利用者数は 1,500 名を超える見通しです。

夕食をの提供に加え、テレビゲーム、楽器、ハンドメイドなど、思い思いの過ごし方ができます。学生世代から働き盛り世代、かつて利用者だった 40-50 代まで、幅広い年代が集まっています。

相談や講座などの決まった枠は設けていません。言葉や表情に、悩みや不安が垣間見えることがあります。自然な本心を気にかけながらも、空間を過ごすことを優先して寄り添う。

——これが「夜のユースセンター」の大きな特徴です。

視察・見学が絶えない

若者支援のモデルケースとして注目

具体的な就職や進学など、目に見える成果が現れるものではありません。支援のわかりやすさという点で活動にご理解をいただくのは難しい側面があります。それでも「何か起きてから」ではなく、その前段階から関わることが大切だと私たちは考えています。いわば予防的な支援であり、問題が起きてからも早期に動き出せるのが大きな利点です。

トー横など繁華街に集まる若者の問題が連日メディアで取り上げられるほど注目され、毎週のように視察・見学が訪れて各地の居場所事業の参考となっています。この活動が評価され東京都・立川市のふるさと納税の活用先に選定いただきました。



日々の活動報告は Facebook グループで！



私どもの活動に
ご支援ありがとうございます。

ご支援くださった方全員のお名前を掲載することはできませんが、
重ね重ね感謝いたします。法人・団体でのご支援をご紹介しますいただきます。



●金銭基礎教育プログラム
「マネーコネクション®」



●若者向けデジタル支援プログラム



●「WORK FIT（ワークフィット）」
プログラム



●「ステップ・キャンプ」



●Youth Drive for Flexible Digital Work
「コレカラ・キャリア」



●「ステップ・キャンプ」



●就労支援共同プロジェクト
「デバッグ・トレーニング(バグトレ)」



●「Youth Drive for Cybersecurity」



五十音順 敬称略

アクセンチュア株式会社
コーポレート・シチズンシップ推進室
就業力・起業力強化
有限責任 あずさ監査法人
Adobe Foundation
株式会社 亍番屋
株式会社 USTUS
SBI 新生銀行グループ
特定非営利活動法人 日本 NPO センター
株式会社 エンスー
大阪マラソン組織委員会
蟹ブックス
株式会社 CAMPFIRE
キンドリル財団

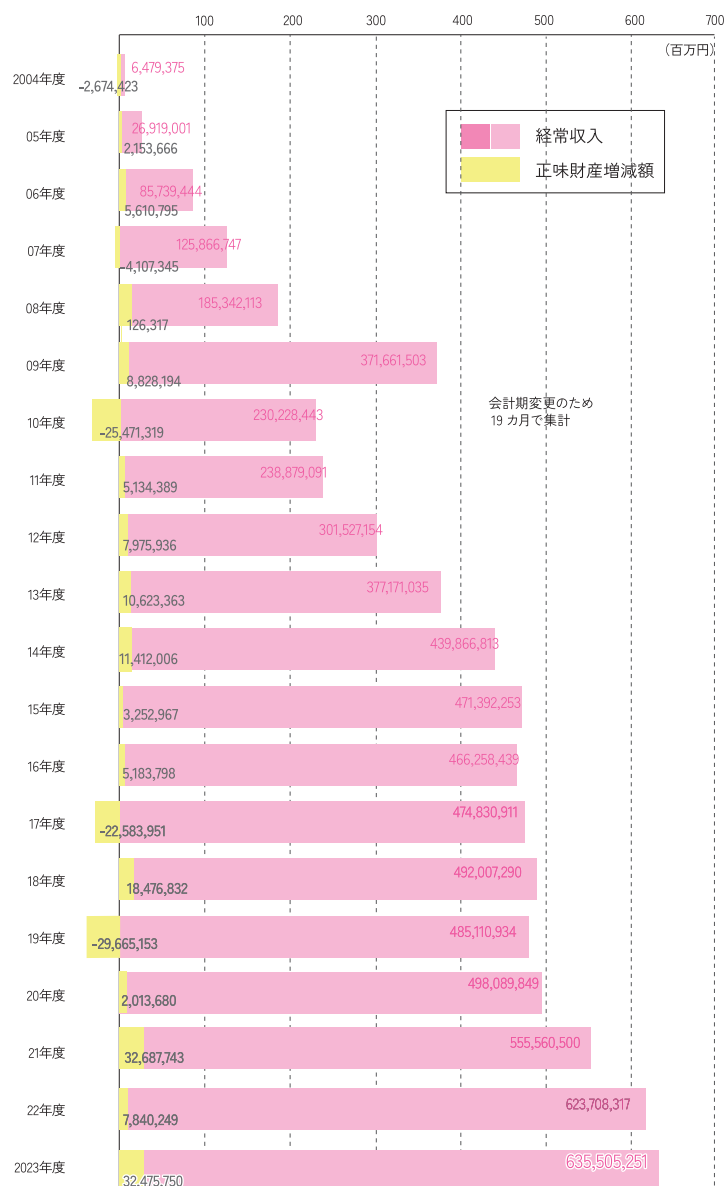
株式会社 クオント
コングラント株式会社
理容室 ザンギリ
JFE キャリアナビ株式会社
J.P. モルガン
(JP モルガン証券株式会社、
JP モルガン・チェース銀行東京支店、
JP モルガン・アセット・マネジメント株式会社)
シティ・ファウンデーション
首都圏若者サポートネットワーク
株式会社 STYZ
株式会社 星雲社
ソフトバンク株式会社
株式会社 SOLIO

一般社団法人 立川アスレティック FC
農事組合法人 丹波山倶楽部
株式会社 Deer
ディースタANDARD株式会社
株式会社 デジタルハーツプラス
東京マラソン財団
有限責任監査法人 トーマツ
一般社団法人 にっぽん福福
株式会社 日本 HP
公益財団法人 日本財団
公益財団法人 日本フィランソロピック財団
日本マイクロソフト株式会社
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構
日本 Rimini Street 株式会社

バーバリー・ジャパン株式会社
Bytedance 株式会社
株式会社 バリューブックス
株式会社 フェブ
藤原印刷株式会社
一般財団法人 三菱みらい育成財団
メットライフ生命株式会社
Yahoo! ネット募金
株式会社 ユカ
株式会社 リクルート
株式会社 リコー
リコー・ジャパン株式会社
READYFOR 株式会社

会計報告

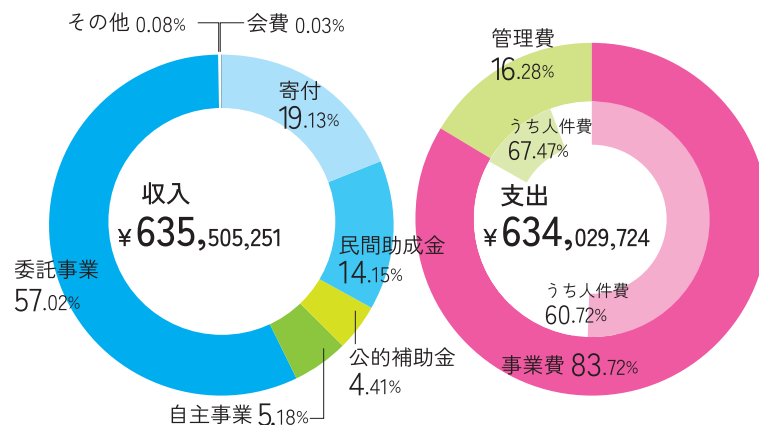
2023~2024年度の経常収入および正味財産増減額の推移



本年度におきましては、新たに海外企業よりご寄付をいただき、また国・地方自治体事業を受託し、収益が 635 百万円（前年比 101.9%）と増収となりました。

支出面では、新たな事業受託等により事務スペースの賃借料や活動費が増加しましたが、最終的に 1.5 百万円の黒字を確保しました。

2023~2024 年度の収入・支出内訳



来年度の会計期（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）は従来と変わりませんが、国内外からの企業との協働事業が 11 月以降の受託が増加しており、収入時期と会計期をまたいで支出時期になってしまっているため、より適正な会計を実施するために会計期の変更をいたします。再来年度は、2025 年 8 月 1 日～10 月 31 日の 3 か月を会計期とし、以降毎年 11 月 1 日から翌 10 月 31 日間を会計期とさせていただきます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

*2009年度は、会計期間変更（定款変更）のため、会計期間が 19 カ月あります。

*当法人の会計は、NPO 会計基準に基づくとともに毎月税理士による監査を受け入れ、適切に処理しています。